

(9) 中学校技術家庭部会

会 長 松本 一彦 (県立中村中)
副会長 田村 悟 (中村西中)
事務局 石崎 桂 (西土佐中)

1. 研究主題 「実践的な姿勢を持ち、主体的・対話的に学べる生徒の育成」

2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場
4月初旬～ 5月7日(火)	四万十市教育研究会組織総会 ・役員選出 ・研究主題設定 ・年間計画	四万十市立 中村中学校
8月6日(火)	四万十市教育研究会 夏季研修会 第1回学習会 ・技術分野 内容A 木材加工 「いす」製作 ・技術・家庭科中四国大会向けの授業構想	宿毛市立 宿毛中学校
	四万十市教育研究会 夏季研修会 第1回学習会 ・技術・家庭科中四国大会に向けての授業構想	宿毛市立 宿毛中学校

3. 今年度の取り組み

○第1回学習会

【技術分野】

・技術分野において、技術分野は免許外での教科担当が半数と多い。そのため夏季研修では、実践交流とともに各校での課題についても話し合い専科からアドバイスを行う形で実施した。また、今年度は木材加工でいすの製作、研究大会へ向けの授業構想も行い、より専門的な活動ができた。

～技術科部会後の感想～

- 各学校の情報を共有することで自分の年間計画のいい見直しができた。
- 臨時免許で技術を教えている現状もあるため、専門知識をもって授業を行うことができないところもある。
- 現状の学校で、できる限りの道具の準備や備品整理をしていきたい。
- 製作を行うことで専門的な知識や技能のレベルアップを図ることができた。

【家庭分野】

- ・技術・家庭科中四国大会向けの授業構想。
令和8年度の高知県大会に向けて、目指す生徒像や、単元構想、授業で扱う内容、事前アンケート項目などの検討を行った。
- ・授業における ICT 機器の活用について
フォームでのテストの作り方やロイロノートの扱い方について、使用したことがない教員もいたため、授業でどう扱っていくかの基礎的な操作方法等を教え合った。また、具体的に授業で使用できそうなサイトを用いて、授業のどこでどのように扱うのが望ましいか等具体的な検討もできた。
- ・家庭科の授業についての情報交換。
同じ市町村の中に専科の家庭科教員がいない状態で、日ごろ気軽に情報交換をすることができない



という幡多郡の状態があるため、それぞれの授業実践を共有したり、検討したりする貴重な時間となった。

<感想>

四万十市の家庭科教員は1名であり、今年度は家庭科の臨時免許をもっている先生の参加希望もなかったため、市教研では家庭科分野の部会開くことはできない状態であった。したがって、夏季休業中の自主研修として参加した幡多・四万十地区の技術・家庭科夏期研修会に参加させてもらい、四万十市の市教研の代わりとした。当初は臨時免許で家庭科を教えている先生方のための授業で活かせる調理実習を予定していたが、幡多の技術・家庭科の研修会でも臨時免許を持っている先生の参加希望がなかったため、専科の先生だけでより専門的な内容について情報を交換する機会をとることができた。日頃、他校の家庭科教員と情報交換をする機会がないため、授業における日頃の悩みや、それぞれの学校での取り組みなどを共有でき、今後の授業作りに活かせる学びをたくさん得る事ができた。



4. 成果と課題

<成果>

- 臨時免許で教えているため知らないところがたくさんあったが、専門的なことを学ぶことができた。
- 長年参加者より希望のあった「実践紹介」に関して、希望に沿う内容の学習会を開くことができた。
- 専科の先生だけでより専門的な内容について情報を交換する機会をとることができた。

<課題>

- 特に実習を伴う教科なので、実習を踏まえた研修会の必要性を感じた。
- 各学校での様々な取り組みを共有できる機会があれば、より課題に迫る協議なども可能になるため各校の取り組み状況を紹介できる場の設定（技術・家庭科クラスルーム作成）があればいいと感じた。
- 夏季研修会で学びたい内容を事前に協議した上で講義や演習をお願いできればより一層充実した活動になると思う。

